

# あさじ

朝地新聞 No.4 2010年10月1日発行



第1回スマイルウォーク：綿田コース(35名)

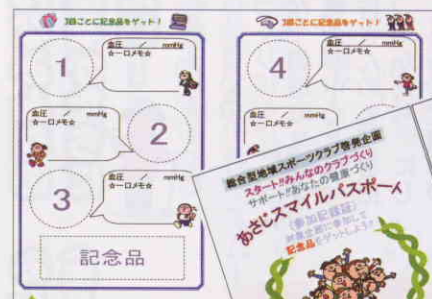


第2回スマイルウォーク：温見コース(40名)

総合型地域スポーツクラブ啓発企画

## あさじスマイル パスポート企画 始動！

あなたも貯めよう健康ポイント！  
3回参加で素敵な記念品GET!!



これが「スマイルパスポート」  
認定企画に3回参加で素敵な記念品を差上げます！

最近お買い物のポイントカードがよく使われていますが、スマイルパスポートは朝地地区で独自に始めた「健康・笑顔(スマイル)」のポイント制度です。



▼板井迫コースでは、途中ソープラメイス！



第3回スマイルウォーク：板井迫コース(80名)

## 「スマイルウォーク」に参加して健康ポイントを貯めよう！

みなさん、まずは気軽にウォーキングに参加しませんか？スマイルパスポート企画第一弾として「朝地の道や文化そして人を知ろう！」を目的に「スマイルウォーク」を始めました。

## コース上には「知らない朝地」がいっぱい！

皆さんは、板井迫小学校の跡地がどこにあるか知っていますか？ 梨原の別荘地のことをご存知ですか？中熊の烏嶽神社に行ったことがありますか？スマイルウォークでは、そんな「あさじ」の歴史や文化に触れたり、知らない道を通ってみたり、再発見がたくさん楽しいイベントです。6月に第1回を開催し、これまで3回実施。当初参加者は35名でしたが、3回目には80人に増加、延べ100名以上が知らなかったあさじに触れ、多くの人との触れ合いを楽しみました。

## 第4回あさじスマイルウォーク 朝倉文夫記念館コース(約6km)開催決定!!

～第10回大分アジア彫刻展とアジアンフェスティバルを見に行こう!!～

期日 平成22年10月9日(土) 8時30分～

コース 朝地体育館集合スタート → 朝倉文夫記念公園ゴール

参加料 500円(当日受付：スタート地点に戻る専用バスを用意しています)



# 「あさじ」をもっともって元気なまちにしたいという思いから 総合型地域スポーツクラブ設立に向けて動き始めました！



「山登りをしたいんだけど、一人ではどうもなあ」  
 「社会人になってても競技(野球・サッカー・弓道...)を続けてみたいんだけど、どうすればいいのかなあ」  
 「スケートやスキーを体験してみたいなあ」  
 「ダイエットのためにスポーツジムが近くにあるといいのになあ」  
 「ヨガや太極拳をしてみたいなあ」  
 「最近子どもたちの体力が低下したって聞くんだけど...」  
 「メタボリックシンドローム予防はどうしたらいいんだろう」  
 「最近、人と会うことがめっきり減ったなあ」  
 「バレエをやりたいけど、人がなかなかあつまらなくて...」

皆さんにこんな悩みがありませんか？



いま、皆さんが健康づくりの為に何かやってみたいなあとか「新しいことを体験したいなあ」ということに関して、「どうしたらいいのかわからない」と思っていることが多いのではないのでしょうか。

実際、朝地地区では多くの趣味嗜好をもつ愛好者がそれぞれにグループを作り活動しています。しかし、その情報が愛好者の中で留まっている現状もあります。また、多くの人ややりたいと思っていることでも、その要望を取りまとめる場所がないために、まだグループになっっていないものもあるでしょう。

何かやってみたいけど、どうしたらいいの？



子どもから高齢者まで笑顔いっぱい地域づくりにむけて

現在、朝地町スポーツ振興会が中心となつて、皆さんの要望を把握し、「かたち」にしていくための仕組みづくりを考えています。その方法として、全国各地で地域づくりに活用されている「総合型地域スポーツクラブ」の仕組みを用いて組織作りを行うことを計画しています。

そんなみんなの要望をかたちにしたい！



私たちの朝地地区において、「みんなのヨリドコロ」となる居心地のいい組織作りに向けて、今後2年間を創設準備期間とし、平成25年度の設立に向けて取り組みを行っていく予定です。

もっともって朝地が元気になるために、そして朝地に暮らす皆さんが笑顔いっぱい過ごせるように、将来の夢を語り実現に向けて努力していきます。皆さんも、一緒に将来の朝地地区を考えていきましょう。



みんなの「ヨリドコロ」(拠り所)創出に向けて

## ※総合型地域スポーツクラブとは…

「誰でも」「いつでも」「世代を超えて」「好きなレベルで」「いろいろな活動を」楽しめる地域の健康づくりの「仕組み」です。

朝地町スポーツ振興会では、地域に合った「仕組み」を皆さんのアイデアを頂きながら形にしていく取り組みを始めました。

## 総合型地域スポーツクラブへの取り組み計画

- (H22) 啓発期間(独自の啓発企画実施)
- (H23) 設立準備(1年目)
- (H24) 設立準備(2年目)
- (H25) 総合型地域スポーツクラブ設立

※設立準備期間にはtoto(スポーツ振興くじ)の助成事業を活用する計画です。



## 総合型地域スポーツクラブの取り組みについては

朝地町スポーツ振興会事務局 (豊後大野市朝地公民館内) ☎ 0974-72-0048  
 朝地町スポーツ振興会ブログ <http://ameblo.jp/asa-spo/>

携帯サイトはこちらから



# 旧朝地中学校跡地に住宅を建設します

## 平成23年度から6年計画で24戸を建設予定

過疎・高齢化が進む豊後大野市の中で、とりわけ朝地町は高齢化率が42%と市内でも高くなっています。このため、地域活力が懸念されており、若者の定住と人口の確保が急務となっています。

このことから地域活性化と定住促進を図っていく計画として、旧朝地中学校跡地に住宅を建設することになりましたのでお知らせをします。

計画では既に基本計画が策定され、本年度実施設計を行い、平成23年度から平成28年度にかけて、先に建設された住宅の入居状況をみながら順次建設する予定になっています。

この計画は、旧朝地町の時代に計画されたもので、平成12年の第3次朝地町総合計画の中で、朝地小・中学校の統合校舎建設にあたり跡地利用を計画したもので、当初は福祉ゾーンとして考えられていました。

しかし、財政事情や将来の朝地町の姿を考え、朝地町最後の議会において住宅建設に変更決定し、豊後大野市に引き継がれて今回の実施となりました。

この計画については、すでにまちづくり委員会、自治委員会で説明を行なっているところです。

### 今回の建築計画の内容

今回の計画概要についてお知らせします。

#### ①敷地の土地活用

住棟間の十分な日照を確保するために、南側（川沿い）に平屋建住戸を配置し北側（体育館側）に2階建住戸を配置する計画です。

#### ②高齢者・障害者等への配慮

歩車分離を図り、高齢社会に対応した人によさしい住まいとするため、住棟まわりのアクセスルートの段差をなくす計画です。

#### ③入居者間のコミュニティの活性化への配慮

入居者間のコミュニティづくりを促進するため、団地内ほぼ中央部に集会所と幼児遊園を設け、回りに湧水を利用した池と小川を配置、入居者間の日常の往来の利便性やスムーズな交流を促進します。

#### ④スムーズな建設計画

計画を6期に分けて、北側の旧校舎側から4棟ずつ建設を行います。そのため供給処理施設はそれぞれに分けて計画し、建設計画に支障のないようにします。また、集会所、公園整備は2期工事で行います。



道の駅あさじと堀家・樋口農地水対策協議会が共同で

## 体験農園「もち米の学校」を開校

道の駅あさじが、堀家、樋口農地水対策協議会と共同で「もち米の学校」を開校しました。

これは、道の駅あさじが、体験農園を通じて市外の人との交流の懸け橋になれないかと企画したものです。「今年のお正月は自分の育てたもち米でお鏡を作ってみませんか!」をキャッチフレーズに、体験農園の参加者を募集。日頃、土や自然と触れ合う機会が少ない大分市内から7家族18人の参加がありました。

内容は6月の田植え、8月のかかし作り、10月の稲刈り、12月のお鏡作りの体験です。作物を生産する楽しみや、自然と触れ合っただけの良さを感じてもらえればと思っています。

ゲゲゲの鬼太郎のかかしを田んぼにたてました!



収穫が楽しみともち米学校の皆さん

地元協議会の方々の指導で田植えやかかし作りを終了して、今後稲刈り、楽しい餅つき体験を行うことになっています。

私たちの命や健康を守る食べ物。近年は、それを、大切にすることが盛んに言われていますが、現在、日本の食べ物の半分以上は外国から輸入されています。外国から輸入された食べ物に頼らず、私たちの近くで生産された、安心できる物を用いることが、体に合っていること、確認していただく機会になればと思っています。

## 御膳米焼酎「あさぢ」2年目

豊後大野市商工会青年部朝地支部、農事組合法人「阿志野郷」、牟礼鶴酒造の三者の協力で昨年度より販売開始した御膳米焼酎「あさぢ」も、ついに2年目の販売の時を迎えました。春には仕込み作業、秋にはラベル貼り、皆さんの協力を得ながら、味わい深く、どこか懐かしい、そんな焼酎に仕上がったと思います。

そして今年には新たな挑戦として、牟礼鶴酒造蔵元周辺の戸崎、小畑地区の活性化の調査研究事業を行なっています。朝地



御膳米焼酎「あさぢ」を持つ青年部員ら



地域や関係者の皆さんとラベル貼り

町の地域を元気にしたいという青年部が地域創りを外部のアドバイザーを招きながら模索中です。

10月2日は、御膳米焼酎「あさぢ」の発売にあわせて、青年部員のカメラマン衛藤克樹さんによる写真展示や、朝地町出身の陶芸家阿南維也さんの作品展示など内容盛りだくさんのイベントを行います。

豊後大野市商工会青年部

朝地支部長

森 健太郎

## 芸術の秋、朝倉文夫記念公園へ行こう!

第10回大分アジア彫刻展開催

2年に1回開催している大分アジア彫刻展が、今年で第10回を迎えました。その記念イベントとして「アジアンフェスティバル」などいろいろな催しが記念公園で開催されます。

この秋、朝倉文夫記念公園へ出かけ芸術に触れてみませんか!!

まちじゅうにちようこくがいっぱい!

大分アジア彫刻展の関連イベントとして行っている「まちじゅう・ちようこく・フェスティバル」。朝地からも楽しい作品が出品されています。ぜひ探してみてください。



あさぢ竹芸教室生の作品 どこに現れるのでしょうか?

# 朝地倶楽部

## ジュニア



朝地倶楽部ジュニアは結成して8年目になります。当初は小学生のみの活動でしたが、中学生の卓球技術の向上を目指して、練習意欲のある子どもたちが参加するようになり、小中学生が合同で練習するクラブとなりました。そして、時々高校生が参加するという個人競技ならではの特色があります。

また、朝地町だけではなく、大野町、緒方町、竹田市から練習に参加する生徒もいて、幅広い交流の場でもあります。

子どもたちは、心も体も卓球も強くなれるよう日々練習に励み、みんなで頑張っています。



練習日 毎週月・金曜日 19時30分～21時30分  
場所 朝地中学校体育館

# ヒュインドゥッカン…

## 今年も温見の盆空に 花火が咲いた

8月14日、温見地区盆踊り大会が、多くの来賓の方をお招きし、旧温見小グラウンドで開催されました。

工藤良一会長や来賓のあいさつの後、祭りはいよいよ本番へ。小野、安藤両青年団員の軽快な司会、



盆踊りを踊る皆さん

グラウンドにはやすらぎ交差点、地元青年団、羽田野ポックン屋さんが露店を出して祭りを盛り上げます。早飲み早食いで爆笑後、歌や柱松投げ、そして盆踊り。婦人を中心に作った円はグラウンドいっぱいの大きさになり、来場者全員で踊りました。そして最後、温見に大輪の花火が開きました。花火に映し出された顔は皆、田舎の手作り祭りを満喫したかのように見えました。

## 口蹄疫が終息して…

「平成22年4月20日」、この日から畜産農家の苦悩が始まりました。宮崎県で10年ぶりに口蹄疫が発生したのです。

値下がりが続いていた子牛価格が落ち着きを取り戻した矢先…。市場の中止、延期、石灰の配布、消毒などなど。口蹄疫の発生で宮崎県の畜産農家はもろろんのこと、獣医師や関係機関の大変さは計り知れないと思いましたが。宮崎県だけではなく、市場の停止した九州各県の農家の被害も甚大です。

この先どうなるのやらと途方に暮れていましたが、口蹄疫も終息に向かい市場も再開。これを契機に、温見地域畜産振興会では、また元気を出して頑張るぞと、消費拡大の意味も込め、会員の夫婦で焼き肉会を行いました。

過去の増頭運動、長引く不況や高齢化、健康志向などで牛肉の消費が低迷。子牛の需給バランスが壊れ、枝肉価格も下落していますが、朝地町は畜産の産地であり、



温見地区はその6割を飼育しています。今まで経験したことのないこの苦境を乗り切るために、仲間と協力しあい良い子牛を出荷できるよう頑張りたいと思いますので、消費者の皆さんも牛肉を一切れでも多く食べて頂けますようお願いいたします。

(温見地域畜産振興会 安藤大作)

## 愛の園生ファンクラブ ができました!

朝倉文夫記念公園を、市を代表する魅力ある芸術空間にしようと、ファンクラブ(会長 羽田野昭太郎さん、会員37名)を設立しました。

8月に設立会を行い、9月にさっそく町内にある野外彫刻の掃除や看板みがき、猫の看板立てなどを行いました。ファンクラブは、記念公園がみんなに愛される公園となるよう、できることから活動を続けていきたいと考えています。



野外彫刻を掃除するファンクラブ会員



朝倉文夫記念公園  
↑ かわいらしい猫の看板

朝倉文夫は猫が大好きで自宅にたくさん猫を飼っていました。作品も多くあります。

# 楽しい陸上人生

## そして誇れる町 あさじ

小野 一さん(大分市)

(小川野 小野長喜さん方)  
私は、小川野で生まれ高校卒業まで住んでいました。

幼いころは野山を駆け回り、川で泳いだり魚釣りをしていました。小学生のころは、学校帰りによく寄り道をしては、時間を忘れ遊んだものでした。

こんな私が陸上を始めたのは中学生の頃でした。大分郡の野津原町立今市中学校です。サッカー部に入っていました。そのかたわら800mと駅伝で県体に出場し、高校まで続けていました。しかし、当時は社会人になっても走るとは思ってもいませんでした。その私が再び走り始めたのは、小野長次さんに町村対抗駅伝に誘われてからです。

翌年からは、県内一周駅伝にも大野郡代表で出場。以来33年連続で出場し続けることができました。これも、周囲の方々の応援と、故障や怪我で出場



が危いときにでも、大会直前まで私の回復を待ってくれた歴代の監督さんのおかげだと感謝しています。

昨年は残念ながら足を故障してしまい連続出場記録にも終止符を打つこととなりました。この間には、会社の陸上部の創設をし、選手・監督として19年間努めました。また、九州一周駅伝の監督、女子駅伝のコーチ、フルマラソンや各種大会にも出場し、楽しい陸上人生を過ごしてきました。現在は電気技術者として業務に励んでいます。

朝地町は、観光や農業で活性化され、チームワークもよく、朝地から離れて暮らしている私ですが、とても誇れる町だと思います。私もいずれはふるさと朝地に帰りたと思っています。

### あさじ歴史探訪②

## 「九州道中日記」にみる朝地町

今から180年くらい前、岡藩に蚕を飼って生糸を生産する養蚕業が伝えられた。

長野県の中条八郎左衛門が、蚕の種や桑の苗木を背負って持ってきて指導し広めたという。志半ばで八郎左衛門は病死。その後、子どもの桑吉が後を継いだ。

朝地町史には昭和30年養蚕戸数54戸、昭和31年の繭の総生産量1,479匁、総金額2,341,000円と記されている。また、志賀には養蚕に使うバラを作る人がいた。その家の屋号は今でもバラ屋と呼ばれている。

八郎左衛門病死の後、桑吉が岡藩に来るのに同道した中条唯七郎(八郎左衛門の甥)が、毎日記録した日記が「九州道中日記」である。唯七郎が歩いた道筋の朝地に関する所を抜き出して見ると

8月25日

(天保二年一八三一年)

四ツ時(午前10時)酒井寺村を立。大島村・祇園にお旅所・ほうのふる峠・一万田のをばた・小嶺に出づ。道の右のほうに中川様御公退の節、樹御往来御野立ち茶屋とて、樹



を植え廻らし、石積み上げ、上に平らかなる切石などを据え置き、この上に御駕籠にても置、お茶差し上ぐると見ゆ成飼(犬飼)以来、右様の場折々見る。

かしこ原、少し爪先上りに曲がり、上り石とも土とも分り難き薄黒き土肌の石様に見ゆる所を切通し様に取拵ひてあり。平井、この村誠に長し左は田、右は山なり。平井入口より5丁程来たり、左へ曲がり田の中へ入、壺丁程過ぎて土橋有り。三拾足に渡って又山へ上る。右土橋の川は、底に自然石必至と有り(さだえが瀬のこと)。

唯七郎さんは、何丁歩いた、土橋を何歩で渡った、爪先上りなど、具体的にスケッチするように詳しく描いていることに驚いた。当時の様子を知ることができた貴重な史料である。



(文責 東藤静子)

### 編集後記

▼4回目の新聞発行となりました。皆様の協力に感謝します。  
地元根付いた新聞づくりを目指してきましたが、なかなか難しく現在に至っています。

新聞部会の会議では、町内に住む皆さんが、それぞれの地域で抱えている不安、不満などを取り上げてほしいという意見が出ました。行事の報告だけではなく、より地域に密着した紙面づくりができるようがんばっていきたくとかがえています。

これからもご支援(広告、意見、寄付等も含め)をよろしく願います。☺

### 朝地まちの動き

人口	3,119人
男	1,480人
女	1,639人
世帯数	1,216世帯

(平成22年8月31日現在)

発行元 コアあさじ  
(商工会朝地支部内・代表 齋田良人)  
☎0974-72-0049